



平成27年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 123 平成27年 6月30日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

雨の日・月曜日・休み明けの日

校長 松井 裕次

予測して行動する

その人が大人かどうかを見極める大きなポイントは予測して行動できるかどうかです。梅雨空が続いています。標題は私が担任のときに、口を酸っぱくして言い続けたことです。

雨の日の対処

まずは天気予報での情報収集です。明日は「晴れなのか雨なのか」「傘が要るのかどうか」を確かめましょう。次は公共交通機関の確認です、「バスや電車・船は遅れないだろうか」と気にかけることです。雨の日は多くの人が傘をさしています。足下を気にしながら、バスに乗るときに傘をたたみ、降りるときに傘をさす動作が繰り返されます。それだけでバスは遅れるのです。また、普段はバスや徒歩で通学している人たちの中にも、雨の日だけ自家用車で送迎という人がいます。車の台数が増加するのですから、道路が渋滞し交通機関が遅れるのが分かります。雨の日は1便早く動き出すのがベストです。

月曜日・休み明けの日

サザエさんシンドローム（≡ブルーマンデー）とは、日曜夕方18:30からの『サザエさん』を見た後、「明日から月曜が始まる」という現実と直面して憂鬱になることだと言われています。私も小学校のころ、土曜の夕方といえば「ワクワク、ドキドキ」でした。当時は、土曜日は午前中授業、いわゆる「半ドン」でした。明日は友達と「山に仕掛けたワナを見に行こう」とか、「自転車で魚釣りに行こう」とか楽しいことばかりを考え過ぎて、逆に眠れなかったのを覚えています。それが、日曜の夕方には暗転するのです。つかの間の土日が終わりを告げ、また一週間が始まるのです。月曜の朝は目覚めが悪く、心なしか体が重たく感じます。ましてや連休や夏休みの最後の日なんて最悪としか言いようがありません。翌朝は休み中のふしだらな生活のツケが回ってきたのか、体調不良に陥っています。これは程度の差こそあれ、大人になっても同じなのです。私だけの問題ではなく、日本中のおそらく万人が経験したことのある、みんなが通ってきた道だと思います。

ただ、大人が少し違うのはここからです。経験的に自分を知り、自己を制御する対処法を学んでいます。これが「自律」です。「宿題や仕事は計画的に早め早めに」、社会人になると、いわゆる「前倒し」ということばがよく使われます。人生何があるか分かりません。大人になると、急な呼び出しや、訃報が入ってきます。早めに仕事を済ませ時間の余裕をつくっておくのが「前倒し」です。月曜日・休み明けの朝はみんな動き出しが鈍く、日ごろ分散して乗っていたはずのバスが、ギリギリの時間帯に集中します。超満員のバスが無惨にも目の前を通過した経験がありませんか。それなら逆に、混雑や渋滞を避けて早く家を出ようという発想が生まれてくるのです。

健康管理も実力のうち

入試本番で健康管理に失敗し、涙をのむ生徒が出てきます。冬場の健康管理は特に重要です。天候や・気温の変化に気を配る必要があります。最近、傘をささないで濡れるのを気にせず歩いている高校生を目にします。体調を崩して学校を休むことになりかねません。最近の天気予報は親切です。朝方の気温まで予測してくれます。衣類を調節したり、エアコンの温度設定をこまめにするなど、自分のことは自分で管理するのが「自律」です。

○高総体について

～陸上男子100M優勝！競泳女子3種目優勝！男子バレー部3位入賞！～

6月5日（金）、今年度の高校総体は佐世保市総合グラウンド陸上競技場で開催された総合開会式を皮切りに始まり、県内各地において、各競技で熱戦が展開されました。

朝からの降雨で開催が危ぶまれた総合開会式。17番目に入場した団長の大川教頭先生、旗手の中村君（ラグビー部主将）以下ソフトテニス男女、バレーボール男女、ラグビー部による本校選手団の行進は実に堂々たるものでした。また、バトントワリング部も行進に華を添えました。

今年度の大会では、個人種目を中心に昨年度を上回る好成績を収めることができました。特に陸上競技男子100Mで北川君が優勝、競泳では南里姉妹が複数の種目で優勝するなど、各種目で好成績を残しました。上位大会に出場する選手たちの健闘を祈ります。また、ソフトテニス女子で2年生の阿比留・吉田ペアが6回戦に進出してベスト16入りを果たし、九州大会出場まであと一歩に迫るなど、1・2年生の健闘も光りました。

昨年度、準優勝した男子バレーボール部は決勝進出をかけて長崎北高と対戦。惜しくも敗退しましたが、見事3位入賞を果たしました。会場となった佐世保市体育文化館には多くの生徒が応援に駆けつけ、会場は本校の体育館さながらに、チームのユニホームと同じオレンジ一色に染まりました。

各運動部では、来年度の大会を見据えて、新チームによる活動がはじまっています。



本年度の主な結果は次の通りです。

●バレー (男)	第3位	
●バスケット (女)	ベスト8	
●テニス (女)	ベスト8	
●ソフトテニス (女)	ベスト16	個人戦ダブルス 吉田・阿比留ペア
●陸上 (男)	優勝 100M	北川 (北部九州大会出場)
	6位 5000M 競歩	金泉
●水泳 (男)	2位 200M 自由形	松田 裕也
	2位 200M 背泳ぎ	古賀 颯
	5位 100M 背泳ぎ	古賀 颯
	4位 100M 自由形	松田 裕也
(女)	優勝 800M 自由形	南里 一美
	3位 800M 自由形	南里 愛恵
	優勝 400M 自由形	南里 一美
	優勝 200M 自由形	南里 愛恵
	6位 400M 個人メドレー	永井 知美
	4位 メドレーリレー	山下・中村・南里一美・南里愛恵
	6位 フリーリレー	南里愛恵・永井・鳥羽・南里一美
	6位 100M 背泳ぎ	山下
	5位 200M メドレー	永井 知美
		(上記種目の入賞者は九州大会出場)
	女子総合 5位	
●柔道 (男)	ベスト16	60 kg以下 松本 大
●ヨット (男)	2位	シングルハンダー級 畑田 了悟
	3位	シングルハンダー級 高井 佑豪

なお、陸上部の北川君は6月18日の北部九州大会において4位入賞し、近畿インターハイ出場を決めました。全国の舞台での活躍を、南高一丸となって応援しましょう！

○前期公開授業旬間

6月10日(水)～18日(金)の期間、前期の公開授業旬間を実施いたしました。全ての授業を自由に参観していただくと同時に、教科ごとの研究授業もあわせて行いました。今回も保護者の方や高校の先生方が参観されました。本校の職員もお互いに授業を参観し、授業力の改善に役立てました。後期は10月に予定しております。ぜひ皆さまの多くの参観をお待ちしております。



○平成27年度第1回美化コンクール

平成27年6月15日(月)～6月19日(金)の5日間、「気持ちよく学び、過ごせる最適空間づくり」のテーマのもと、第1回校内美化コンクールを行いました。結果は以下の通りです。

<教室部門>

順位	クラス	得点	順位	クラス	得点
優勝	2-1	96点	10位	3-5	62点
2位	2-5	89点	11位	1-6	58点
3位	2-4	88点	12位	2-3	53点
4位	2-6	87点	13位	3-3	51点
5位	1-4	84点	14位	3-6	50点
6位	2-2	83点	15位	3-1	46点
	1-5		16位	1-1	41点
8位	3-4	81点	17位	1-2	19点
9位	3-2	80点	18位	1-3	-25点

<トイレ部門>

優勝 前館西1F男子トイレ(2-4担当) 98点
 2位 前館東1F男子トイレ(2-4担当) 97点
 3位 前館西1F女子トイレ(2-5担当) 95点
 他 32位まで略



「窓のサンの汚れが残っているクラスが少し多かったのが全体的な反省点です。今後も美化コンクールの取り組みをぜひ継続してほしいです。」と、生活美化委員長の山下くんが話していました。

○人権学習講演会・スクールカウンセラー講話(「心キラッと南高」旬間)

6月10日(水)から26日(金)までを「心キラッと南高」旬間とし、スクールカウンセラー講話、人権学習(DV防止講話)、美化コンクール、保健委員会の活動等、「いのち」・「思いやり」・「マナー」をキーワードにさまざまな取り組みを行っています。

6月17日(水)は、スクールカウンセラーの富崎朋子先生による講話が行われました。「ストレスと上手に付き合おう!」というテーマで、ストレスとは何か、ストレスに上手に対応する方法を学びました。

また、6月24日(水)は、本校富永先生によるDV防止講話が行われました。代表生徒による寸劇を交えて、親しい男女間での暴力の現状と課題について知り、I(アイ)メッセージやYOUメッセージを考えることで、自分や相手を大切にする気持ちを学びました。

生徒保健委員会・図書委員会の活動では、「夕夏文庫」の紹介をし、本の中から心に残る一節を校内掲示の形で紹介しています。

(SC 講話)



(DV 防止講話)

